

令和 5 年 7 月 定 例

教 育 委 員 会 会 議 録

令和5年7月 定例飯舘村教育委員会会議録

- 1 招集日時 令和5年7月27日（木）午後3時00分
- 2 招集場所 飯舘村役場 2階 第1会議室
- 3 出席委員
教育長 遠藤 哲
教育委員（教育長職務代理者）高橋 祐一
教育委員 菅野 クニ
教育委員 庄司 智美
教育委員 星 弘幸
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明のため出席した者 教育課長 高橋 政彦
指導主事 蓮 實修一
生涯学習課長 山田 敬行
- 6 開 会 午後3時00分
教育課長 これから令和5年7月の定例飯舘村教育委員会を始めてきたいと思います。
- 7 日程第1 教育長あいさつ
教育長 今月7日金曜日に秋田県の大館市で行われました東北市町村教育委員・教育長研修会、前日の大館市内での研修もいろいろ含めて、大変に有意義な研修となりました。皆様、大変お疲れさまでした。
この1学期ですが、心配されたコロナの影響もほとんどなく平常通りの保育・教育活動が行われ、先週、20日木曜日に1学期の終業式を終えて、現在夏季休業中となっています。
まず初めに、13日木曜日に実施されました相双教育事務所から指導主事を招いて行われた、こども園の指導訪問について報告いたします。その中の全体指導では、先生方の保育や指導について、また、子供の特性・実態を捉えた環境構成や指導計画、さらにはICT、絵本コーナー、そして保育ドキュメンテーションなどについてお褒めの言葉を多くいただきました。これらの内容を、今年度飯舘村のまでのりのこども園で行われる幼稚園教育研究会浜大会でも成果として発表できるということを期待しています。
次に、夏季休業中の主な行事についてですが、8月1日火曜日、転入教職員の村めぐり研修。今年度、新たに長泥地区を副村長の案内、説明で研修箇所として追加しています。
翌2日ですが、村教職員の研修会が予定されています。この研修会ですが、午後からは例年同様こども園の職員も参加して、今回は、いせひでこ先生と一緒に

ワークショップでお世話になっており、全国各地で公演されておりまノンフィクション作家の柳田邦男先生をお招きして、絵本を題材とした講話をいただくことになっております。

また、昨年度オンラインで行いました上智大学の学生による村塾、これを今年度は7日月曜日から10日木曜日までの4日間、10名の学生が来村して個別の学習指導や部活動等でも交流を行う予定であります。

生涯学習課関係ですが、8月7日から3泊4日で実施される本年度で2回目となる北海道での研修旅行「いきいきわくわく学びの旅」では、希望の里学園の14名の児童が参加いたします。栗山町での現地の児童との交流、そして北海道の文化や歴史、自然体験等から多くのことを学んで、充実した活動となるよう準備を進めています。

また、5日土曜日に行われるナイター駅伝、昨年度よりも16チーム多い52チームが参加して、村の冷涼な気候の時間帯の中、スポーツ公園内でたすきをつなぎます。学校からも子供たちあるいは教職員チームも参加予定になっています。

最後になりますが、本日の定例会、後ほど相馬採択地区協議会より通知された令和6年度使用小学校教科用図書の採択についてお諮りしますので、よろしくお願いいたします。

なお、直接関係ないことではありますが、定例教育委員会の前に菅野クニさんが語り部の活動ということで復興庁から表彰されました。復興庁及び福島復興局からお二人でいらして表彰をされたところです。大変おめでとうございます。

私からは以上になります。

8 日程第2 会期の決定及び書記の指名

教育長 会期の決定及び書記の指名については、会期は本日1日間、書記は高橋政彦教育課長を指名したいと思います。ご異議ございませんでしょうか。

全 員 異議なし。

9 日程第3 令和5年6月定例教育委員会会議録の承認について

教育長 日程第3、6月定例教育委員会会議録の承認について、事務局より説明をお願いします。

教育課長 (資料に基づき説明)

教育長 令和5年6月定例教育委員会会議録の承認について、よろしいでしょうか。

全 員 異議なし。

教育長 ありがとうございます。

10 日程第4 議案第9号 令和6年度使用教科用図書の採択について

教育長 日程第4、議案第9号 令和6年度使用教科用図書の採択について、事務局説明をお願いします。

教育課長 (資料に基づき説明)

教育長 教科用図書については採択地区ごとの採択ということで、本村は相馬の採択地

区になっているということです。実際に調査員という先生方をお願いして、その先生方が全ての教科書に目を通して協議会の諮問に対する答申をするという形で答申をいただいたということ。それを基に採択地区協議会で採択して、最終的には各市町村教育委員会で採択をするということになっています。

なお、採択の際には各学校の先生方の意見であるとか、あるいは教科書展示会にいらした一般の方の意見なども参考にしております。調査内容については非公表のため、資料はありませんが、ご熱心に調査をしていただいてしっかりと議論されて選定されたものというふうに考えております。

なお、4ページに書いてあるものが今年度新たに採択するもの、5ページが、昨年度に採択されているものであります。6ページ、7ページは特別支援の子供たちの使う教科書で、この中から選択してくださいということになっています。

それでは、令和6年度使用教科用図書の採択についてですが、何かご意見、質問等ありますか。

星委員 この教科書の選定については、以前業者との癒着という問題があつて話題になりましたが、1つは、市町村ではなくて地域単位ということで相双地区にて選定していますが、進学で高校に行くときに相双地区ではないところにも行くということもあると思います。その採択された教科書というのが、ほかの近隣と比べて同じなのか違うのかが分かるかいいと思います。

もう一つは、先生方の感想や意見も募った上で採択されていますということですが、実際に採択された教科書に対して先生方がどう感じているかというのを、匿名でもいいので、先生方がイメージしていたものと実際に採択されたものが合っているかなどを知りたいです。

もし可能であれば、情報として今後検討できないかと思います。

教育長 先生方に事前の選定の意見は取っていますが、確かに使用後のというのは、意見として聞いておいて機会があればその話をしたいと思います。

教科書の違いは確かに気になる場所ですが、当たり前ですが学習指導要領に準拠しているので、大きな違いはありません。ただ、入試に有利不利とはならないように、県のほうでも全ての教科書を見て出題していると思います。確かに、県北等はどうなのと気になる場所ですので、何かそういう情報があれば聞いて、話できるときがあれば話したいと思っています。

教育長 その他ございますか。採択承認ということでよろしいでしょうか。

全 員 異議なし。

教育長 ありがとうございます。この結果については採択地区の事務局、そして学校にもこれから通知することとします。

11 日程第5 報告第1号 7月臨時議会補正予算について

教育長 日程第5、7月臨時議会の補正予算について、事務局お願いします。

教育課長 (資料に基づき説明)

教育長 何か質問があればお願いします。臨時議会補正予算案について承認ということでもよろしいでしょうか。

全 員 異議なし。

12 日程第6 諸報告について

教育長 日程第6に移ります。諸報告についてです。

13ページからになりますが、一括して事務局より説明をお願いします。

教育課長 (資料に基づき説明)

生涯学習課長 (資料に基づき説明)

教育長 なお、8月1日、2日の研修ですが、参加あるいは講話をお聞きになりたいという方は、可能ですので教育課までお声がけください。8月5日のナイター駅伝、17時開会式です。応援に来ていただければと思います。それから8月10日、浜ブロックの市町村教育委員研修会、南相馬の博物館での研修。24日がパルセいいざかで教育委員・教育長研修会があるということです。

日程第6、諸報告について委員の皆様から何かございますか。

菅野委員 7月5日に第2回学校運営協議会、その前に6月にあったかと思いますが、今年の運営協議会の委員に変更があったのか。いつも教育委員会へご報告いただいたかなと思いました。

教育課長 委員の任期が来年の3月までありますので、今年は変わっていません。

星委員 先日の東北六県教育研修会にてどんな感想を持ったか一言ずつでも教えていただけたらなと思ひまして。

自分は研修会で2つ思ひまして、1つは、講話の中であった教育の目指すところというので、大館市の教育が、大館市の若者たちが外に行かないようにという、大館市を好きになってそこで楽しく人生を過ごせるようにという、そういう目標を持ってそのための教育というつながり方で、非常に何のための教育かというのが分かりやすかったなというところ。年齢的にどうしても、飯館村の場合だと中学校までは教育という感じがすごくあるんですが、高校、その先となったときに、そことのつながりというか、そこの人たちに何をを目指すのかといったときに、中学校までの子供たちをどうしたいかというビジョンとかありますが、その先のところでどういうところに持っていきたいかというビジョンというのがなかなか見えないなというのがあったので、そういう意味で将来、人生として考えた中での教育ということで、子供のときの教育と大人になってからの教育という両方をつなげて説明できるような取組をされていたのが、すごく印象に残ったと思ひました。

もう1点は、大館市の人口は多分村の10倍以上はあったと思ひますが、学校数も非常に多くて、規模的に見たときに飯館村単独というとなかなか規模が小さいなというところがあって、講師の言葉で何で、旅をしないと空がつながっていることに気づかないみたいな言葉があったと思ひますが、言っている部分とはちょっと違うかもしれないんですけども、やはりほかの地域との連携とかそういうところをどう考えていくかというのも、教育としては大きなテーマになってくるのかなという感想を抱きました。

教育長 まず大館市の取組、実際いろんな研修であのような話を何回も聞いていますが、残念なことに決定的な違いは被災地であるということ。これは大きな隔たりで、なかなか参考にできる部分、できない部分がはっきり、むしろ際立ってしまう部

分もあったので、なかなか一概にはまねしようということだけでは済まないところがあります。ただ、参考になる部分は大いにあったので参考にしたいと思っています。村の学校を卒業した後のビジョンということについては、基本的には将来戻ってきていただけるということが理想である。そのためには、ふるさと学をはじめとして飯館の将来について考える。そういったことを意識して、いいたて学なり学校経営全体もそういうものが流れています。行政でもできるだけそういうことにつながるように、例えば通学の補助を出したりしております。ただ、もともとが被災地で人が離れてしまっているのも、そこはハンデがあると思っています。もう一つ、単独ではということで、ご存じかと思いますが「ふくしま田園中枢都市」要するに県北地区、二本松、本宮、大玉、飯館の広域でそうものを考えていこうという動きにはなっています。例えば部活動の地域移行もそういった形で対応するようになるかもしれませんし、実際研修などはその中で呼びかけて研修の窓口を広げているという事実もあるので、おっしゃるとおりそういう考え方で行かないと、なかなか飯館村単独ではというところは考えられると思います。

高橋委員 私からは、発表者2名おまして、まずは国の教育の大筋の目標、それが明確に教えていただいたということでありました。あとは、教育長が申し上げたとおり大館市も人口減で悩んでいるようで、人口の減もなくして発展に結びつけるには、やはり教育が大事だということを痛感したところであります。私たちの村には合わない面もありますが、大筋としては教育を通じて大館市の発展を目指しているんだなというところが感じたところであります。

菅野委員 私からは、貴重な経験ありがとうございました。真っ先にひまわりプロジェクトのものが売っていて、それは子供たちが考えたもので、今商品化されており、それを一生懸命売っている先生方の姿を見ながら買ってきました。ひまわり油とドレッシングを買ってきましたが、その中に子供たちが考えたレシピまで入っていて、その思いも書いてあって、なかなかだなと思いました。それを飯館村ではとなったときに、飯館村のふるさと学の中で、例えば今飯館の牛肉、イータデベイク、いいたて雪っ娘のかぼちゃ、ナツハゼ、凍み餅とか。そういうものを学んでくれていて、それを結構外に一生懸命頑張って売ってくれているという、あれがもう少し発展的になっていくんだろうなと思いながら、それぞれのできるところでそれを展開していけばいいんだろうなと思いながら見てきました。

それと子供たちに帰ってきてもらいたいという中で、私は一生懸命やるのはいいけれども、学力がつけばつくほど外に出たときに戻ってこないという、そのジレンマの中で秋田県の悩みというものをあるときに感じながら、実は数年前に学校が義務教育学校にする前に、東成瀬村に見学に行きました。そこで、「子供たちが優秀になると出ていって全国で頑張れるし、そうするとなかなか戻ってこないという悩みはありませんか。」と質問しました。それがあつたんですよという話の中で、そうだよなと思いながらおりました。ですので、教育長さんの話も聞きながらそんなことを頭によぎっていたんです。実はあの後、2日後でNHKで若者が戻ってくる村があるという番組があつたんです。ご覧になった方いますか。秋田県のあの村が、若者たちが戻ってきて増えているという、当然出生数も増えているという、それが東成瀬村だったんですよ。村の卒業した子供たち、若者も

そうですが、よそから全く関係ない方が来て、そこで I T を使った仕事などがある。要するに今、W i - F i がありパソコンがあればどこでも仕事ができるということ。あのときの悩みながら子供たちを育てていることが結果としてこういう形で戻ってくるんだろうなと思ったときに、私は飯舘村は今どん底からだんだん上がっていくところ。その過渡期にあるんだなと思いながら、その過渡期を私たちは見ているんだと思います。私はたまたま研修の 2 日後のその番組を見ながら大館市も含めて東成瀬村のことも頭によぎって、そんなことを感じました。

庄司委員 今回、初めて他県に行つての研修に参加させてもらいましたが、ほかの県の取組とか、そういうのを実感できたのが少し感動的で、子供たちの様子というか、ひまわりの油とかそういうのもあったので、学園でもいいたて学として地域の凍み餅だったり芋だったりいろいろやっている中で、そういうものももう少しアピールできたらいいんじゃないのかなというふうな実感をしました。

教育長 いいたて学でも例えば「イイタネちゃんポーチ」作って売って、完売したものもありました。いいたてトランプは作ったんですが、残念ながら素材がどこから取ったのか分からなくて、著作権の問題で難しいということで、販売にはなりません。いずれにしても売るとかなってしまうと教育委員会だけの問題ではないまた別の話にはなってしまうますが、私もできれば本当にそういう機会があれば一番いいなとは思っていますので、今後も少し発信型というか表に出るようなものも考えていきたいとは思っております。

教育課長 大館市ではいろんなやり方があって、なるほどと思いました。文科省の話は、大きな時代の流れが変わるなと思いました。働き方改革ということと同時に、先生方の給与体系を改正するという話をしていたので、大きく変わるのかなと思いました。確かに働き方改革で、先生の働き方が変われば、教育の流れというのも変わってくるので、ここ数年でまた大きな波が来るかなと今回の話を聞いて思いました。

教育長 前日に曲げわっぱ工場を見学しまして、非常に伝統工芸品は美しいなと説明を聞いたら、子供たちも全員曲げわっぱで弁当箱を作って、それで持たせるなんて話がありましたね。本当に意義ある研修になりました。

教育長 なお、次年度は山形県ということで、ぜひまた次年度も参加をお願いします。諸報告について、全体的によろしいですか。

13 日程第 7 その他

教育長 日程第 7 に移ります。次回については、8 月 24 日木曜日にあづま荘、場所はパルセいいざかのすぐそばです。定例教育委員会を先に行つて、その後、1 時からパルセいいざかに移動して教育委員・教育長研修会という予定ですので、よろしくお願いします。

次々回、9 月になりますが、学校を見てという予定でしたので、9 月 26 日火曜日の 11 時半、場所はいいたて希望の里学園。変更になる場合は、同じ日の 15 時に役場会場とします。今日、明日中には学校に確認して連絡します。

教育長 それでは、日程第 7 まで終わりましたので、一旦課長に返して、閉会をお願いします。

菅野委員 その他のその他で、すみません。先ほど教育長さんからもお話がありましたが、このたび復興庁から復興大臣の感謝状を頂きました。これは語り部で感謝状を頂きましたけれども、飯舘の中で語り部の研修を受けて語り部としてやっている方はあといないんですね。私がずっと語りかけてきたのは、ある程度村の情報をきちんと共有化することが大事じゃないですかという話。それが特に放射線の話だと微妙なところもあるので、今の状況はどうなんだということを正しく伝えることはしなければいけないのかなと思いながら、ぜひ、そんな人のネットワークも含めて人材育成をしてほしいと思います。県は生涯学習課がやっているんですけど、今回のこの感謝状の中には、実はネットワーク会議で後の方が続かないんですよという話題が出てきました。そんな中で、今までやってきた方たちに対して感謝状を贈りながら、ぜひ市町村でそういうことをやってほしいというところの動きの一つとして、この感謝状の意味があると思っています。復興大臣の記者会見の中身から言うとそういうことだなと思うので、私から、せっかく頂いたものなので続けますが、ぜひ後に続く方たちも含めて村のことを語れる人材と、そういうことをやっばりやると勉強になります。そうすると、村がもっともっと大人も好きになっていく、子供のいいたて学じゃないですけども。大人のバージョンのいいたて学だと思います。そんなふうにしてぜひ生涯学習課でも何かその辺もお考えいただければありがたいと思います。どうもありがとうございました。

14 閉 会

教育課長 それでは、貴重なご意見ありがとうございました。これをもちまして、令和5年7月の定例教育委員会を終了いたします。お疲れさまでございました。

午後4時00分 閉会

上記のとおり相違ありません。

教育長

教育委員（教育長職務代理者）

教育委員

教育委員

教育委員

高橋祐一

菅野 ㍻ 二

星 弘幸

庄司 智美

書記：教育課長 高橋 政彦